



# 2025年3月期（通期） 決算説明会

証券コード：5659

# 2025年3月期 (通期) 決算概要



売上高、経常利益とも過去最高レベルの実績も、昨年9月公表の業績予想には届かず。中国での太陽光パネルの在庫調整の影響を受け、極細線の販売が想定を下回ったことが主要因。

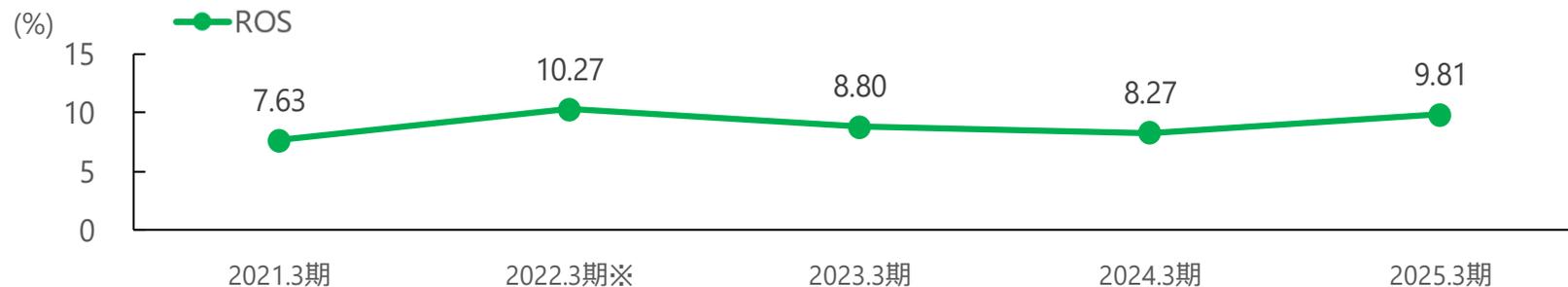
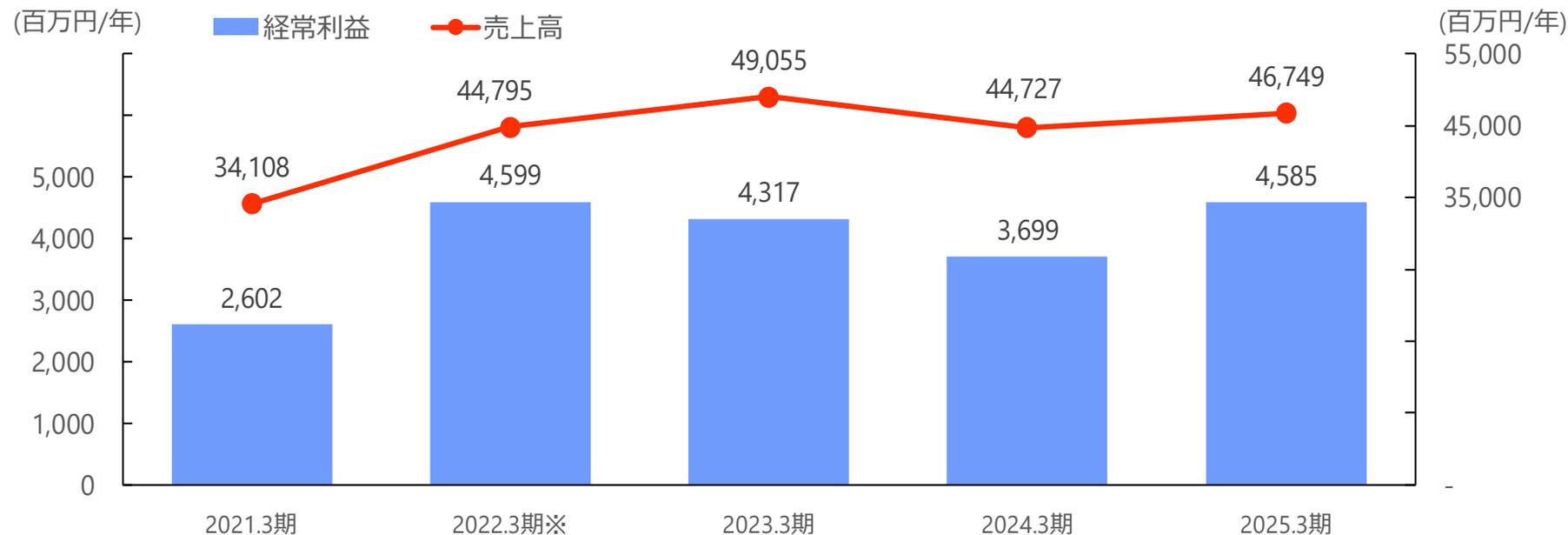
## 【ステンレス鋼線部門】

- ✓ 販売数量増加も本格的な需要回復には至らず
- ✓ 極細線は細径化対応し受注増も3Q以降調整局面

## 【金属繊維部門】

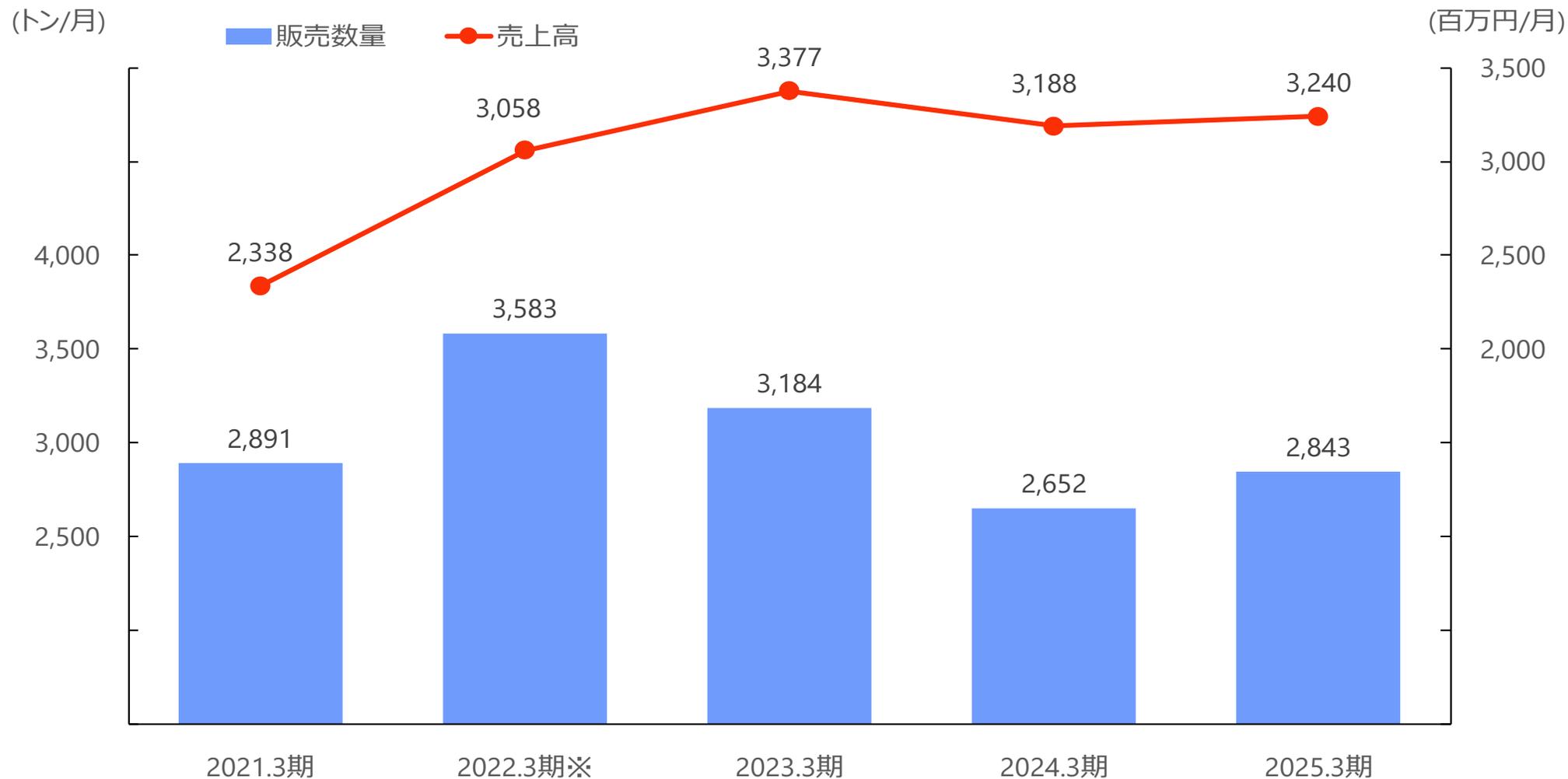
- ✓ 超精密ガスフィルターは調整局面継続も4Qから回復傾向
- ✓ ナスロン<sup>®</sup>フィルターは海外大型案件加わり大幅増

# 連結売上高・経常利益推移



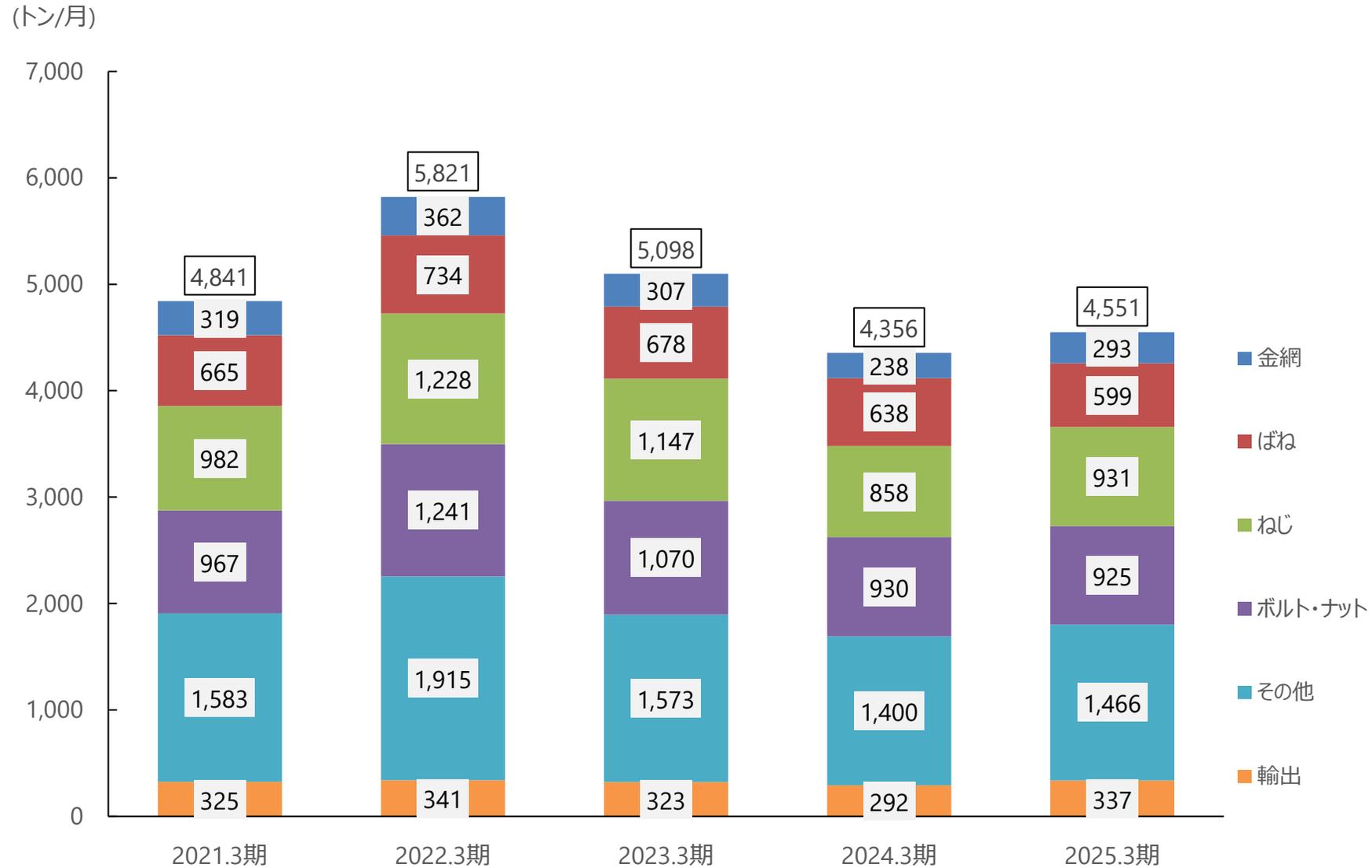
※タイ精線の決算期を変更（2月→3月）21/1Qのみ4か月分計上。3月度タイ精線単体：売上高401百万円、経常利益36百万円

# 部門別売上高の推移（ステンレス鋼線）

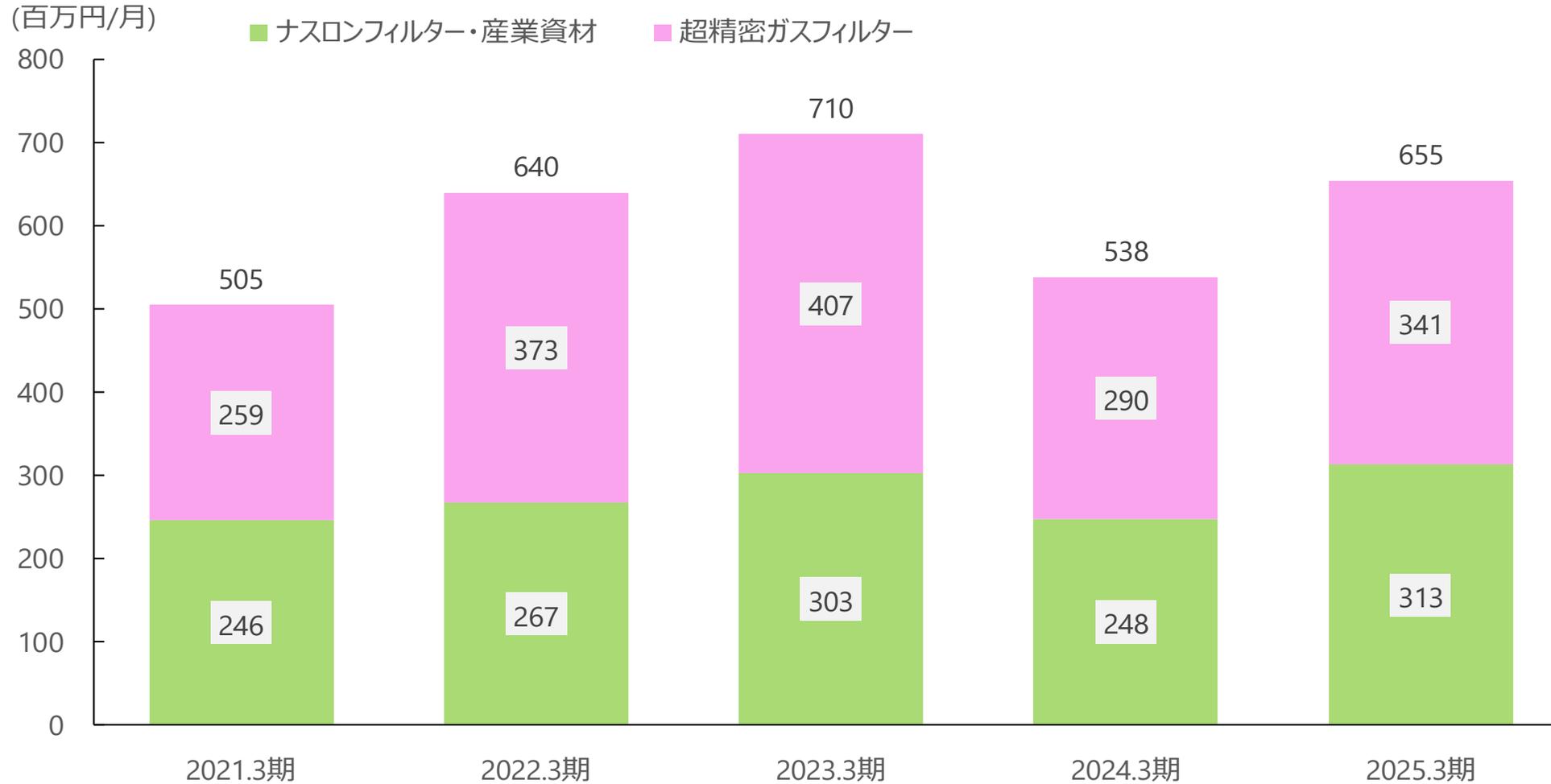


※タイ精線のみ21/3～22/3月の13か月分を12か月分に補正して計上。

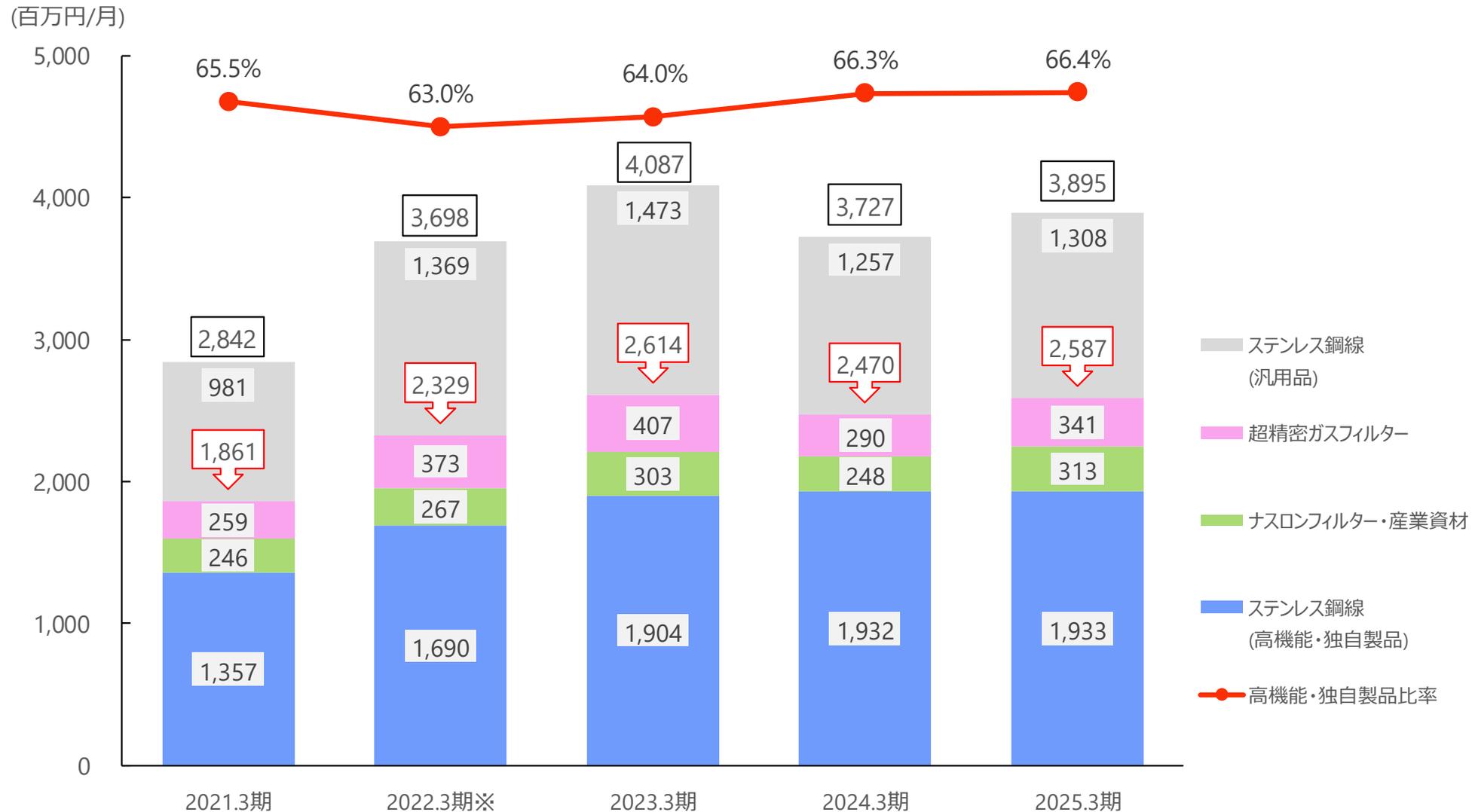
# 業界出荷数量の推移（ステンレス鋼線）



# 部門別売上高の推移（金属繊維）



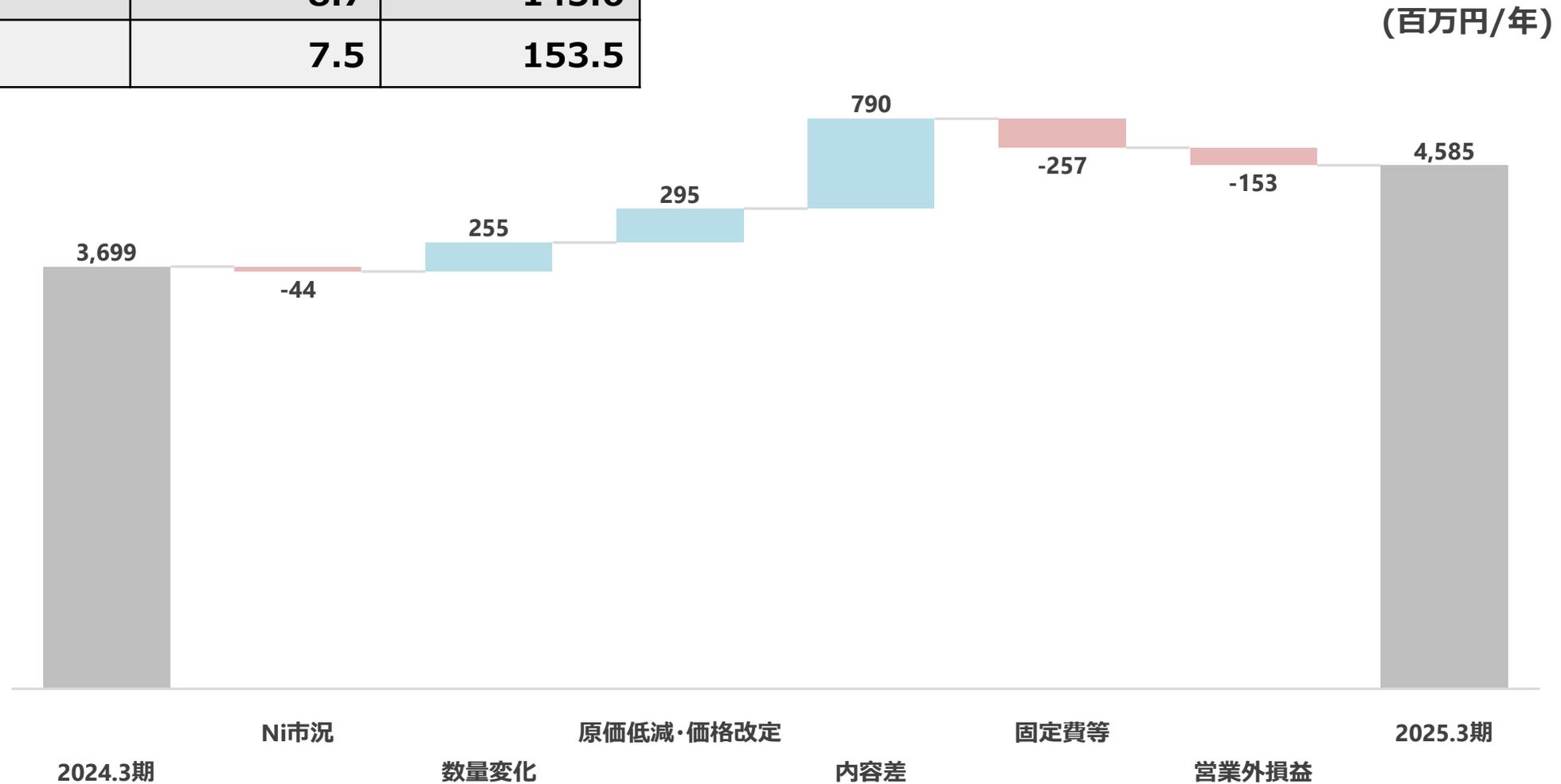
# 高機能・独自製品の売上高の推移



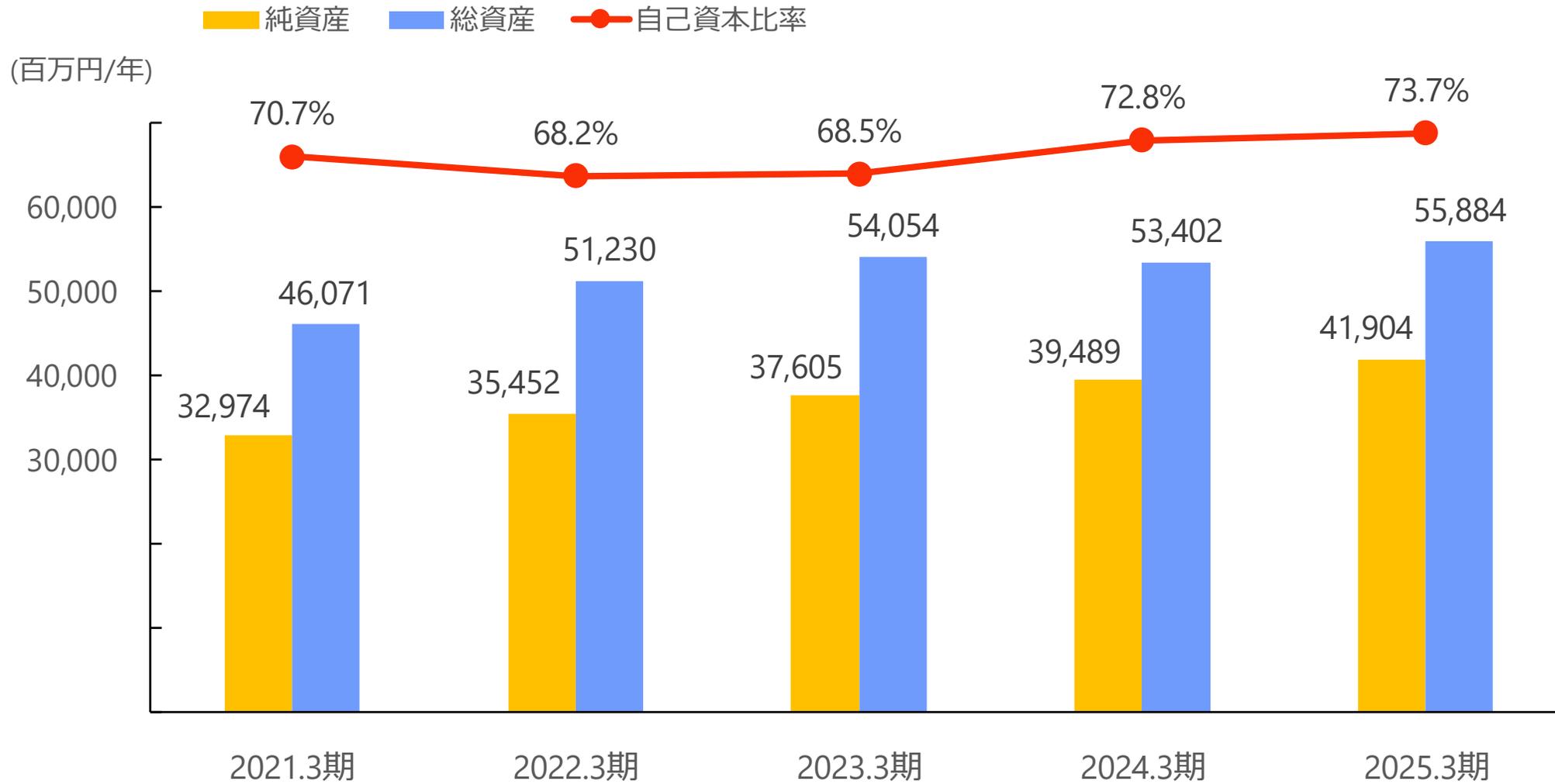
※タイ精線のみ21/3~22/3月の13か月分を12か月分に補正して計上。

# 経常利益の変化要因（前期対比）

ロッド価格の前提	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
2024.3期	8.7	145.6
2025.3期	7.5	153.5



# 総資産・純資産・自己資本比率



# 2026年3月期 業績見通し



前期比減収減益の見通し。トランプ関税はステンレス鋼線、金属繊維両部門にマイナス影響を及ぼすと想定、概ね保守的な見積もり。

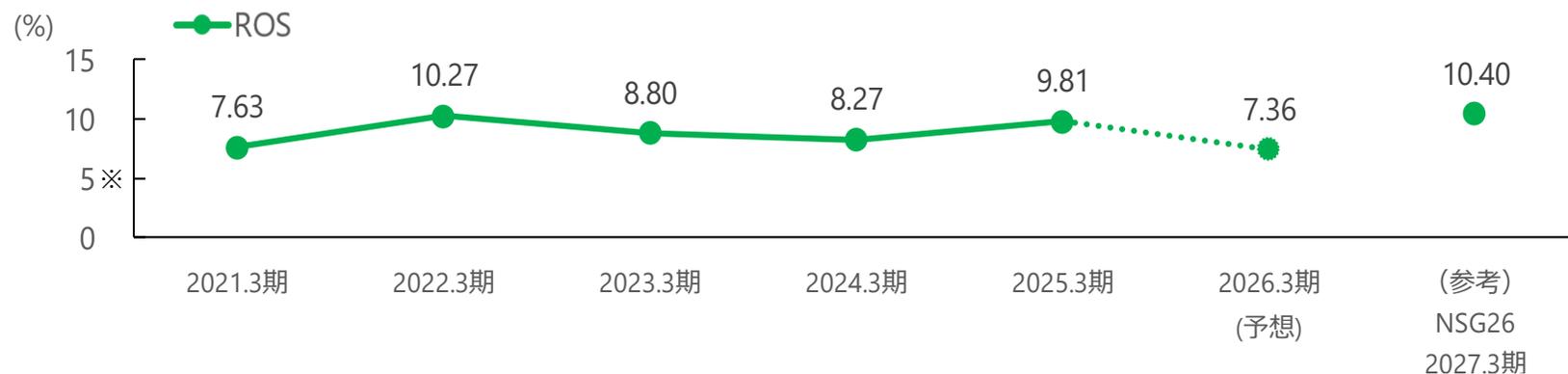
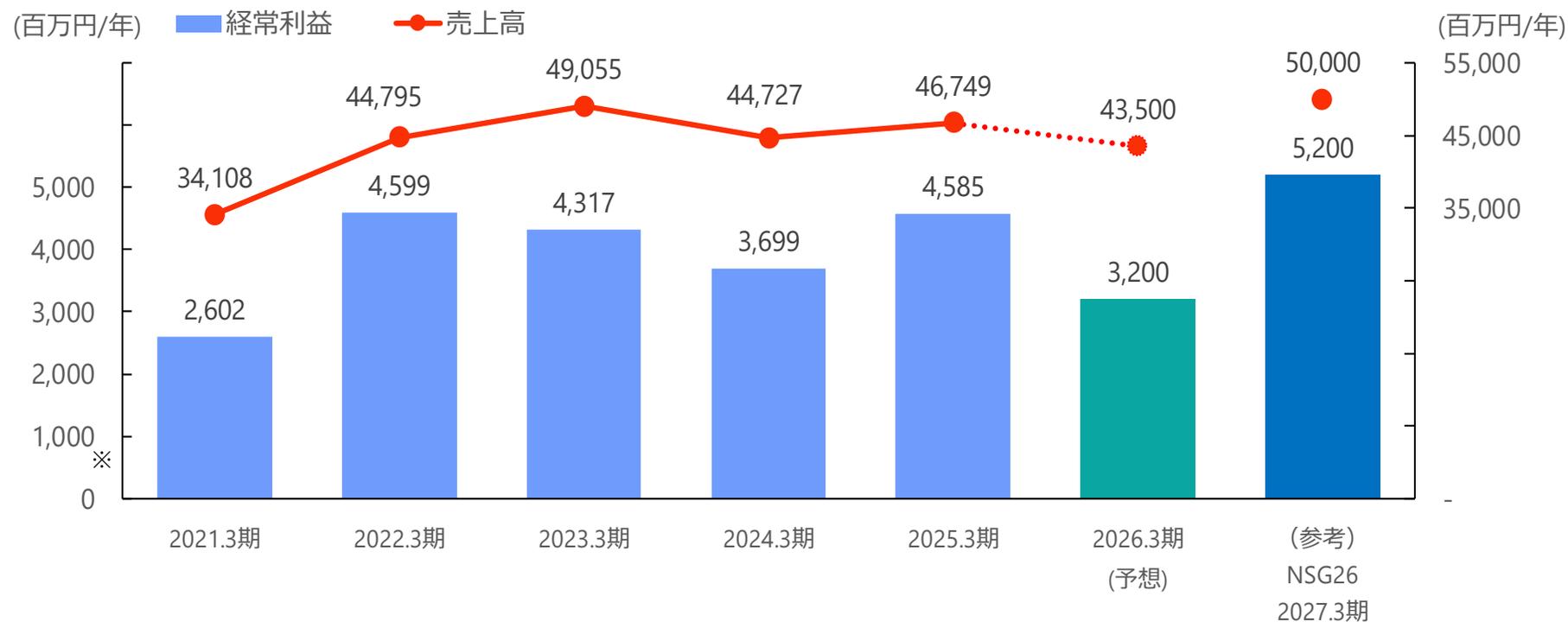
## 【ステンレス鋼線部門】

- ✓ トランプ関税が自動車ほか多方面に影響を及ぼすと想定、販売数量は前期比減少
- ✓ 中国市場の太陽光パネル調整継続により極細線も大幅減

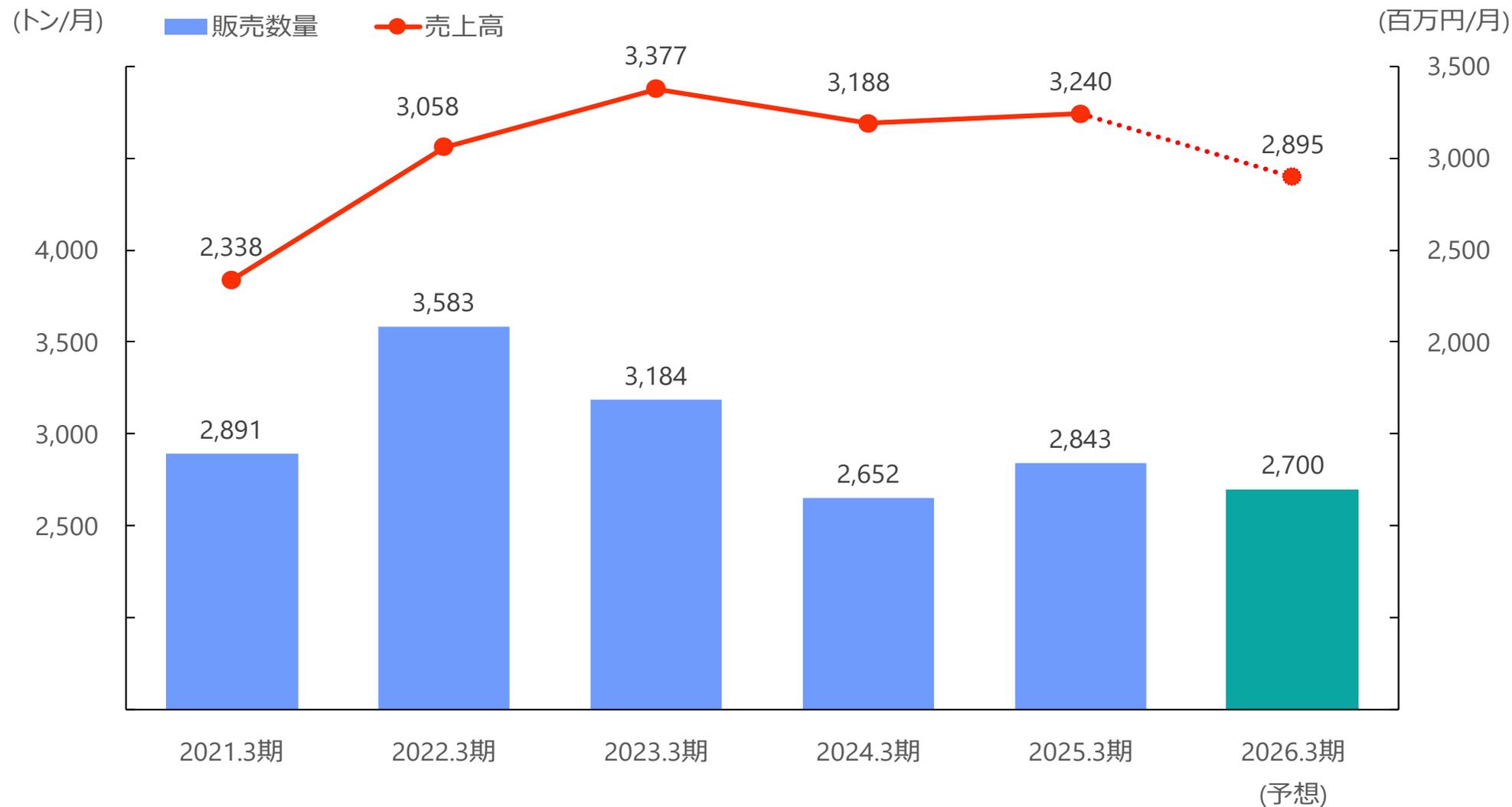
## 【金属繊維部門】

- ✓ 超精密ガスフィルターは回復傾向もトランプ関税による下振れ考慮
- ✓ ナスロン<sup>®</sup>フィルターは海外大型案件を着実に捕捉し引き続き堅調

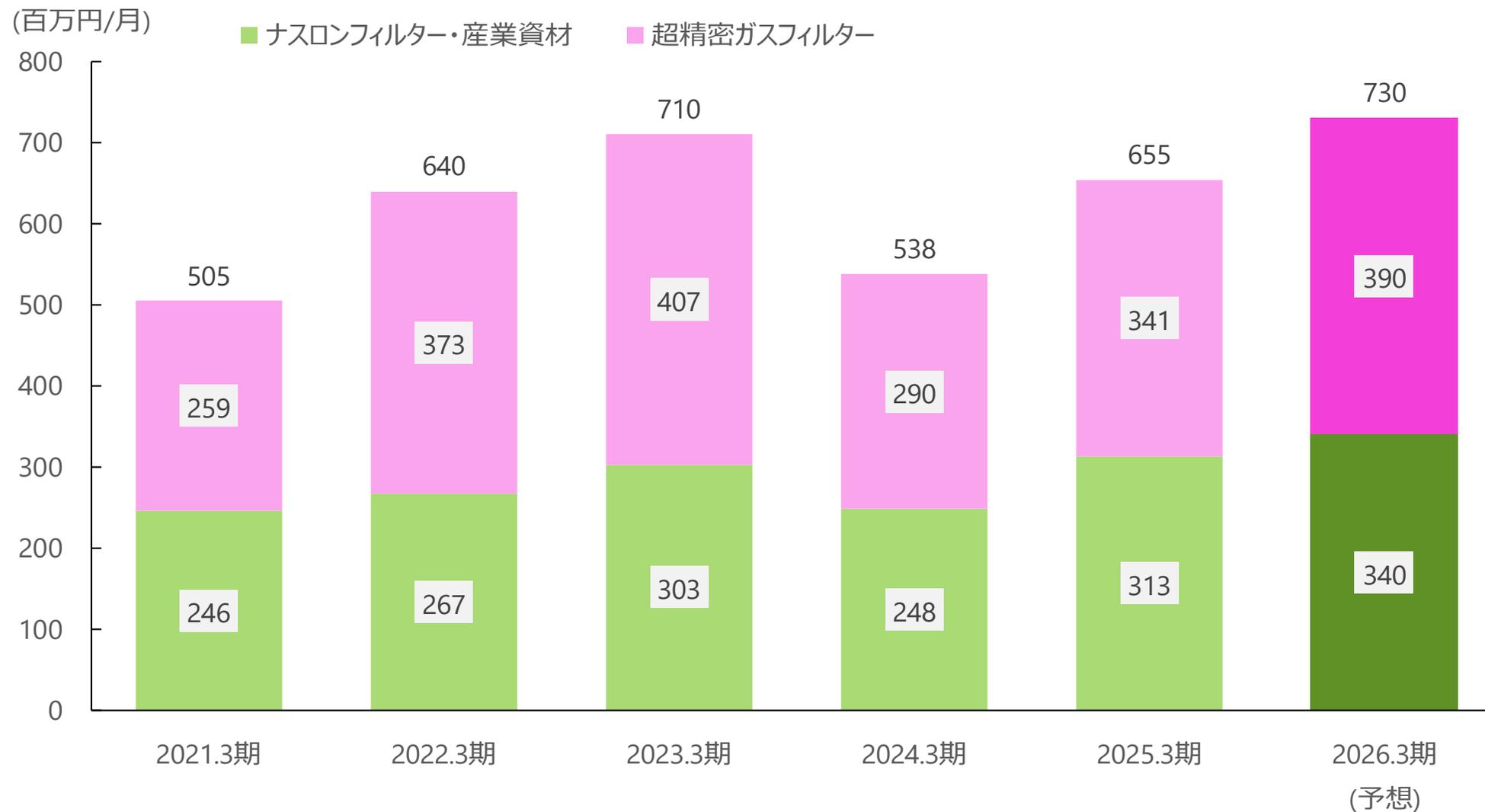
# 2026年3月期 連結業績見通し



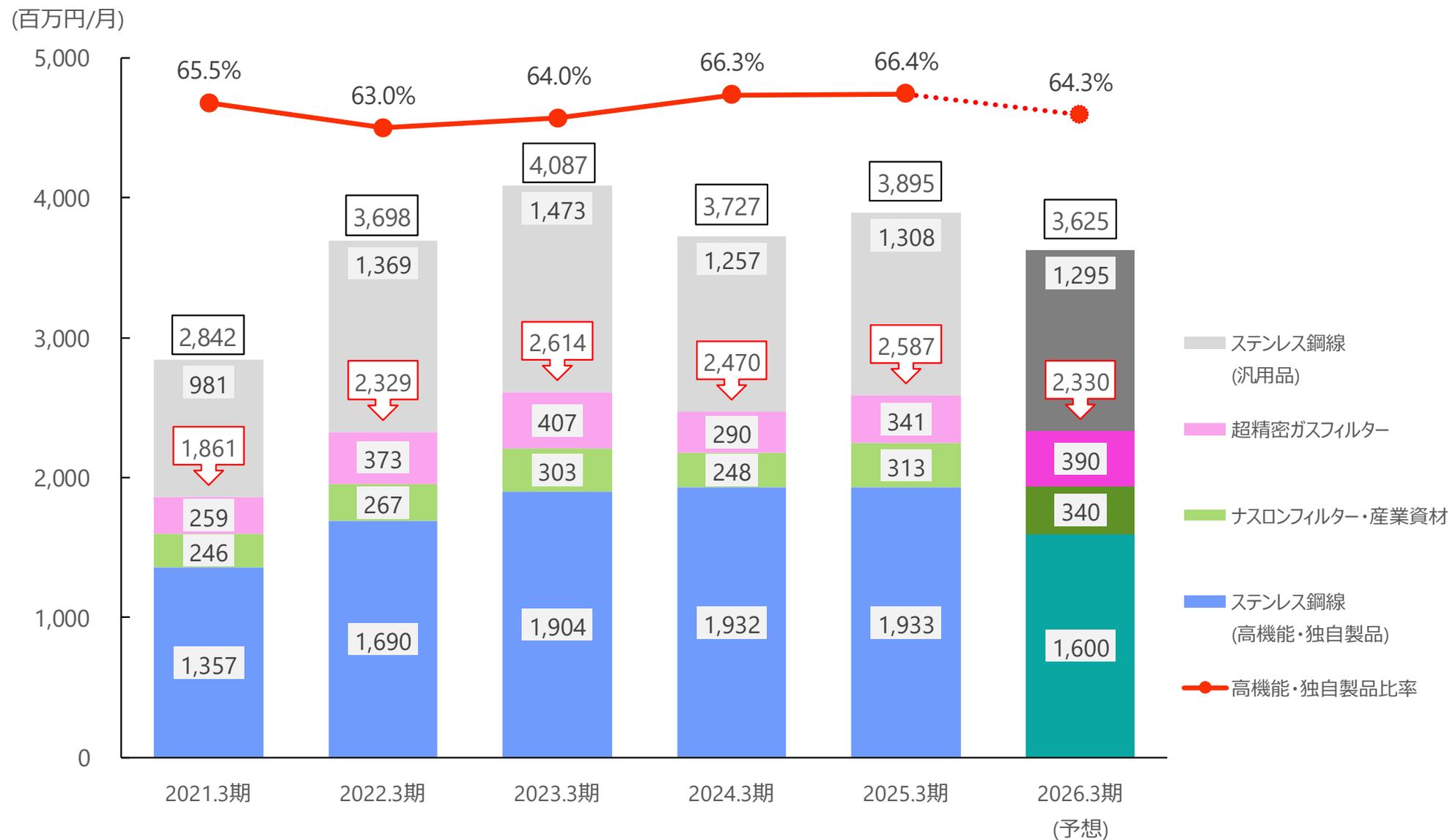
# 部門別売上高の見通し（ステンレス鋼線）



# 部門別売上高の見通し（金属繊維）

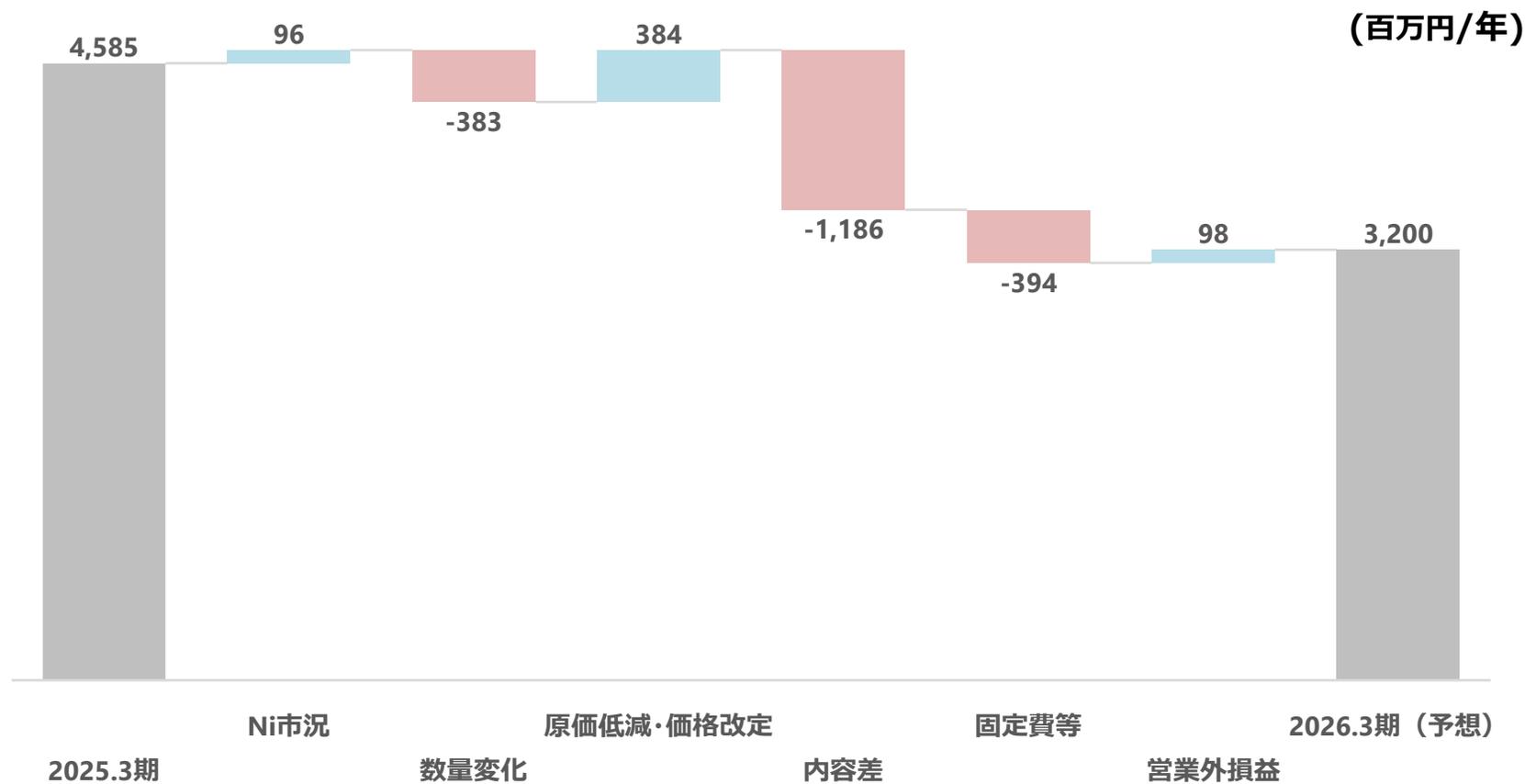


# 高機能・独自製品の売上高の見通し

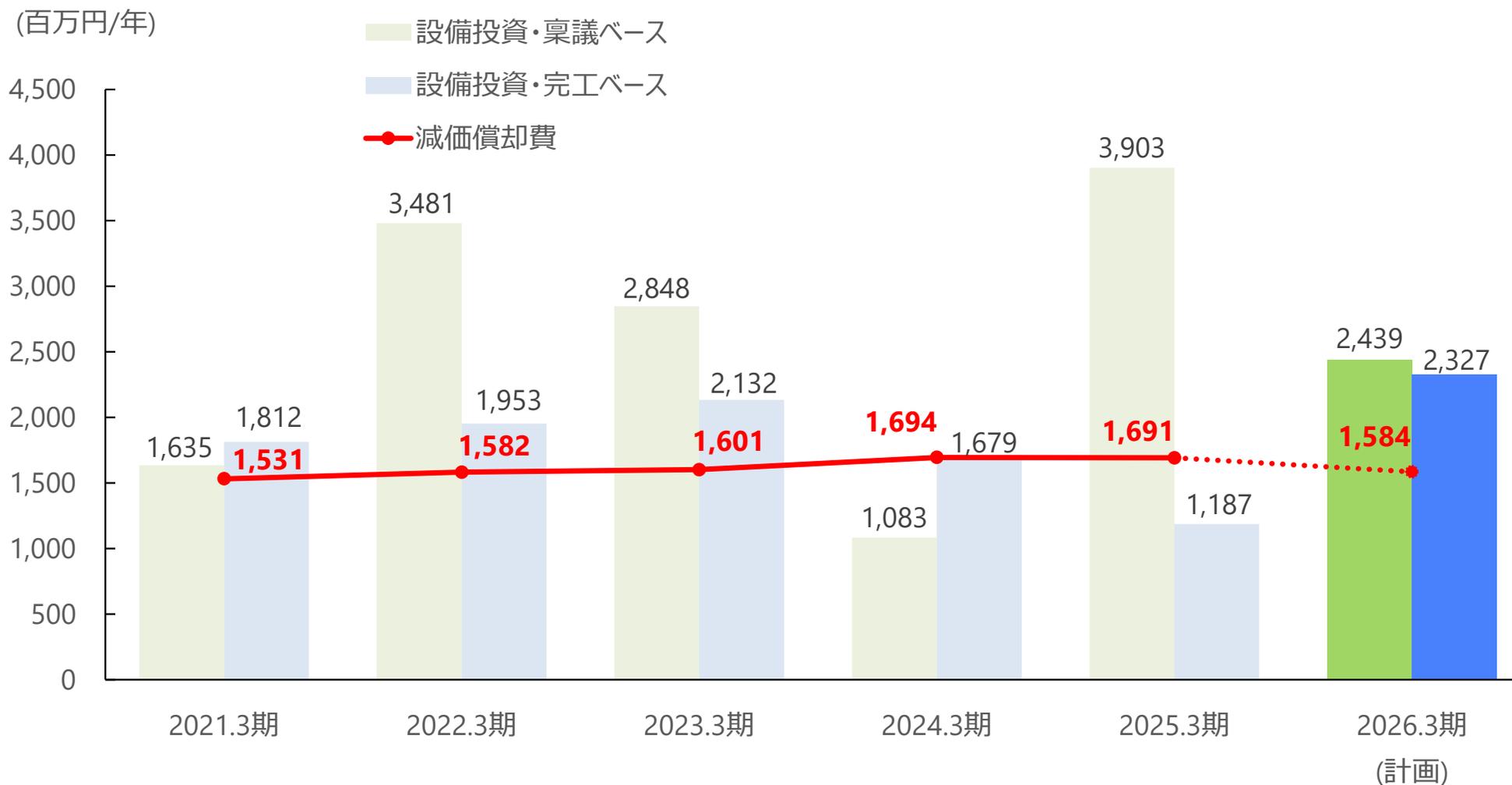


# 経常利益の変化要因（次期予想当期対比）

ロッド価格の前提	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
2025.3期	7.5	153.5
2026.3期（計画）	7.0	140.0



# 設備投資・減価償却費の見通し



# 2026.3月期 配当見通し

	2025.3期		2026.3期 (予想)	
	中間期	通期	中間期	通期
経常利益 (百万円)	2,341	4,585	1,100	3,200
当期純利益 (百万円)	1,609	3,250	800	2,300
配当 (円/株)	28	56	16	42
配当性向 (%)	53.4%	52.8%	61.3%	56.0%

[株主還元の考え方] 連結配当性向50%程度を目途に還元

# 中期経営計画NSG26 取り組み状況報告 (2024年度)



## 2035年の「ありたい姿」

Micro&Fine Technology を極めて  
お客様にとって価値ある製品を独自技術で創り続け、サステ  
ナビリティ社会の発展に貢献し  
ステンレス鋼線No.1カンパニーの地位を継続していく

## 26 中期スローガン

サステナビリティ成長分野へ高機能・独自製品の  
開発・拡販と企業価値向上により持続的成長を図る。

**NSG** : Nippon Seisen **S**ustainable **G**rowth

1. **サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発深化**
2. **生産基盤強化と生産性向上**
3. **水素回収技術の深化**
4. **ESG経営：資本コストや株価を意識した経営（PBR1倍以上を目指して）**

# 中期経営計画（NSG26）の概要——経営目標

	2025.3期	2026.3期 (見通し)	2027.3期 (計画)
連結売上高（百万円）	46,749	43,500	50,000
(連結)高機能・独自製品 売上高成長率（前中期平均比）	105%	94%	120%
連結経常利益（百万円）	4,585	3,200	5,200
連結 ROS（経常利益 / 売上高）	9.8%	7.4%	10%
連結 ROA（経常利益 / 総資産）	8.4%	-	10%
連結 ROE（純利益 / 株主資本）	8.1%	-	8%
連結配当性向（配当 / 税引後利益）	52.8%	56.0%	50%程度
CO2排出量削減率（2013年度比）	(※) ▲29%	-	▲30%

※第三者検証前のCO2排出量を基にした数値。

## 1. サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発深化

- ✓ 極細線：細径化が加速する中、従来の $11\mu\text{m}$ に加え $9\mu\text{m}$ についても量産対応。 $8\mu\text{m}$ の製造技術確立に注力
- ✓ 超精密ガスフィルター（NASclean<sup>®</sup>）：超低圧損かつ高濾過精度を有した新製品を開発、更なる半導体デバイス微細化に対応



## サステナビリティ成長分野へ高機能・独自製品の拡販：展示会への出展



Semicon Japan 2024の様様

### 【主な出展先（2024年度下期）】

- ・Semicon Japan 2024（東京）
- ・Semicon Korea 2025（ソウル）
- ・メッセナゴヤ2024（名古屋）
- ・第13回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（福島）

### 【主な出展製品・技術（高機能・独自製品）】

#### ■医療（安全、耐久性、機能性に優れた材料）

- ・医療用ステンレス鋼線（非磁性、高強度、コバルト規制対応）

#### ■環境（自然に優しい環境対応材料）

- ・超高純度水素分離膜モジュール（水素関連）
- ・耐水素脆性ばね用ステンレス鋼線（水素関連）
- ・金属繊維ナスロン®、半導体用超精密ガスフィルター etc.

## 2. 生産基盤強化と生産性向上

### 【生産基盤強化】

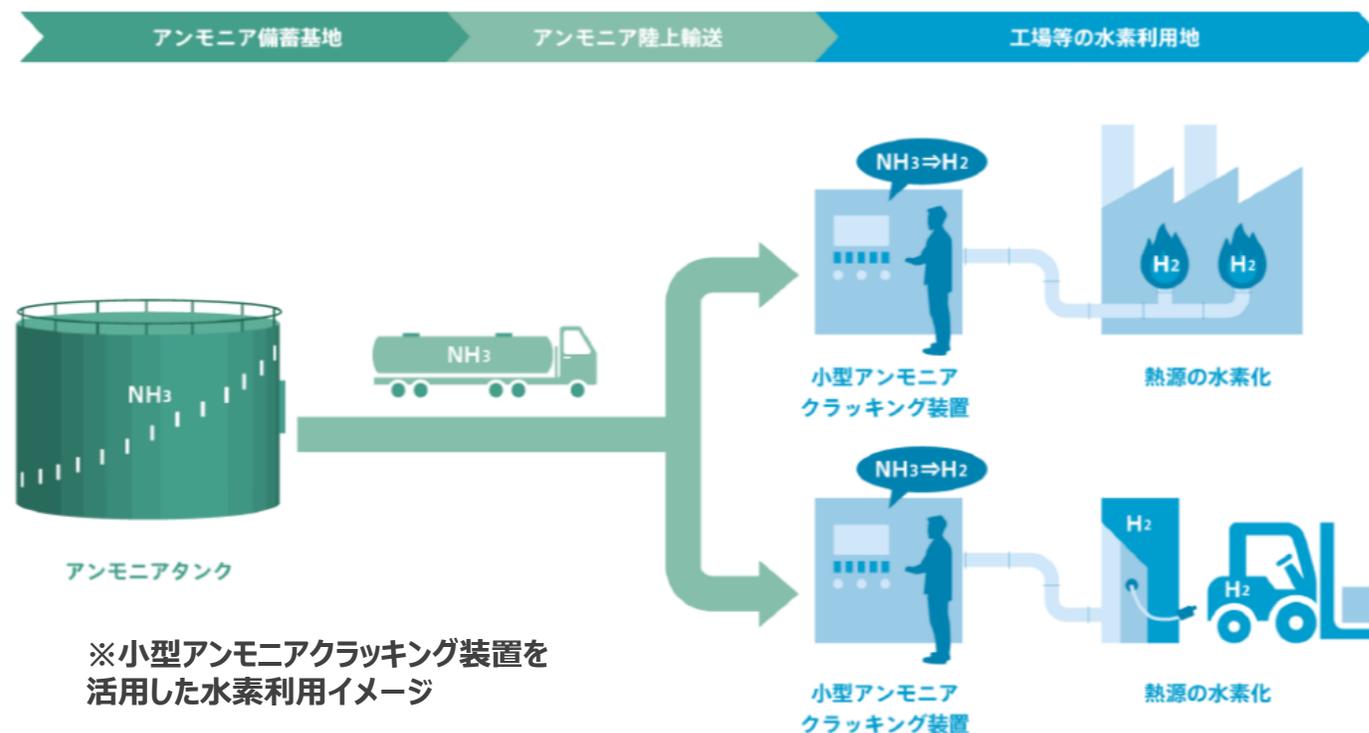
- ✓ 極細線の細径化及び需要拡大などに対応する製造工場増築の先行実施
- ✓ 海外向けで需要拡大が見込まれる細物ばね材の増産に向け伸線機の増設
- ✓ 超精密ガスフィルター（NASclean®）需要増に備えた、製造工場やその周辺整備

### 【生産性向上】

- ✓ ナスロン®フィルターの再生洗浄工程での作業ロボット化
- ✓ 識別照合工程でのAIカメラ導入検討

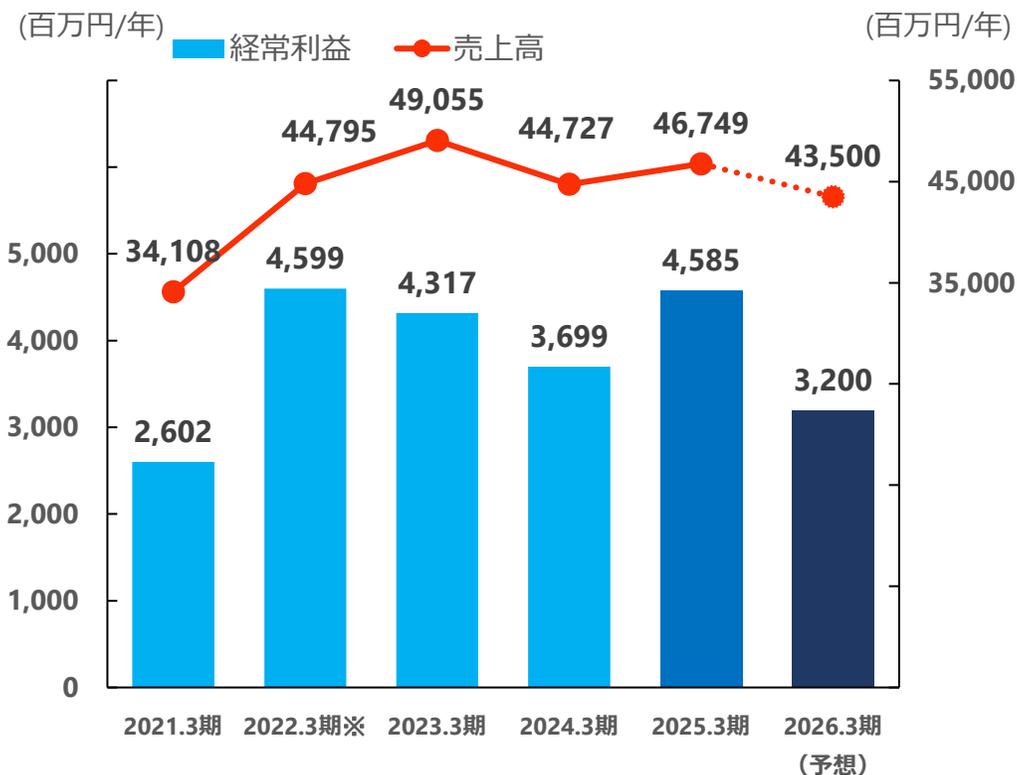
## 3. 水素回収技術の深化

- ✓ MCH（メチルシクロヘキサン）からの水素貯蔵回収モジュール  
回収した水素を熱処理炉の雰囲気ガスとして構内利用、連続運転による実証実験に向けた整備を行い、装置の信頼性とコストを検証
- ✓ アンモニアからの水素回収技術の開発  
小型アンモニアクラッキング装置の実用化に向け、エンジニアリング企業や電力会社などと共同検討

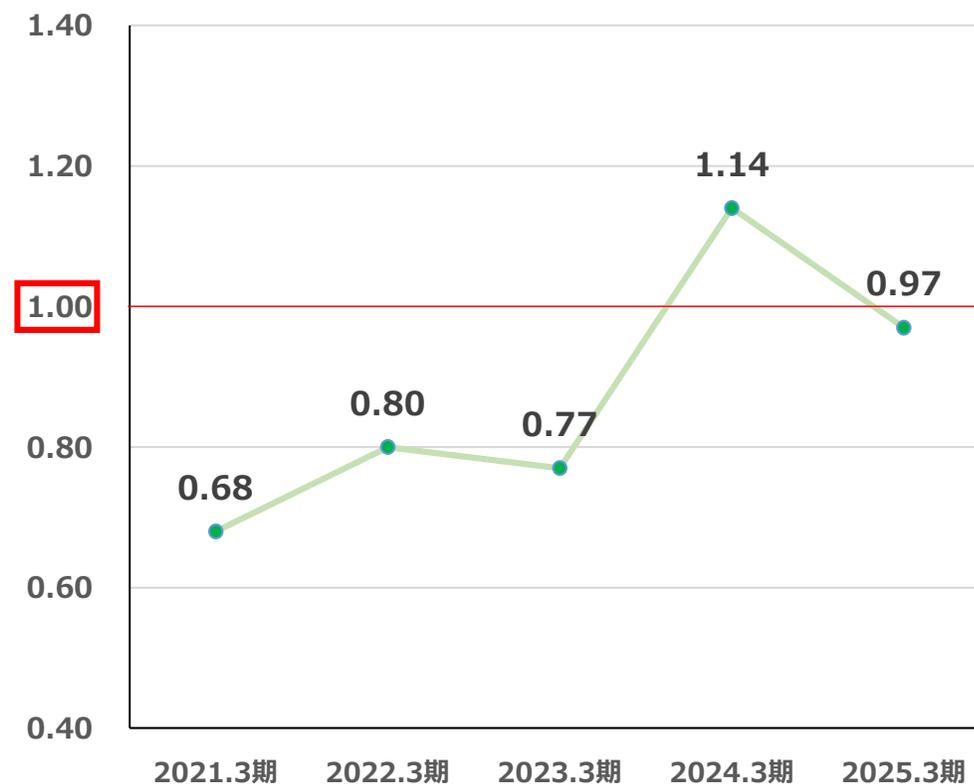


## 4. ESG経営：資本コストや株価を意識した経営 (PBR1倍以上を目指して)

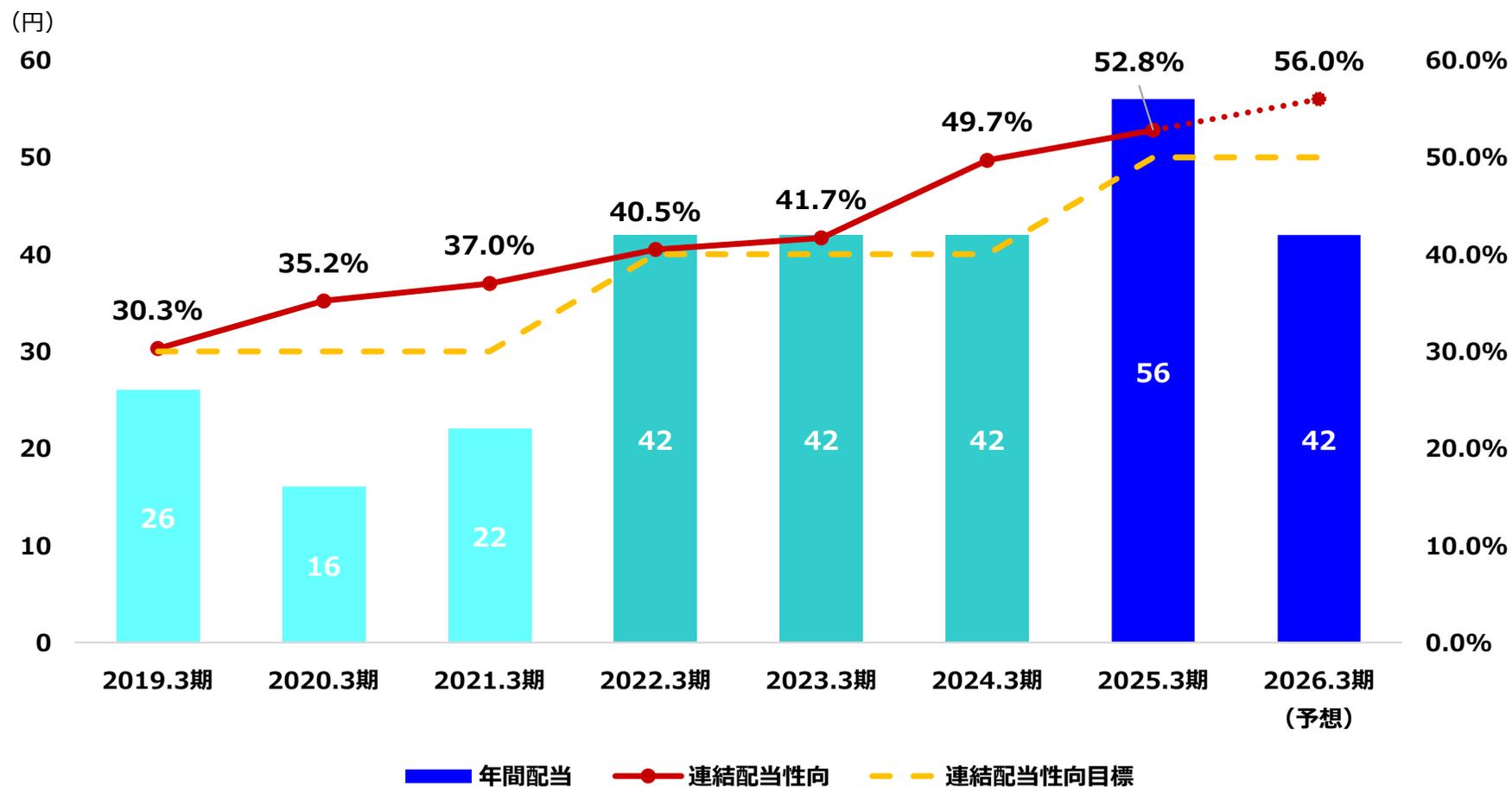
### 業績の推移



### PBRの推移



## 資本コストや株価を意識した経営：配当額・配当性向の推移



基準日2024年3月31日にて普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。  
2019.3期～2024.3期の年間配当（円／株）は分割後の株式数にて計算。

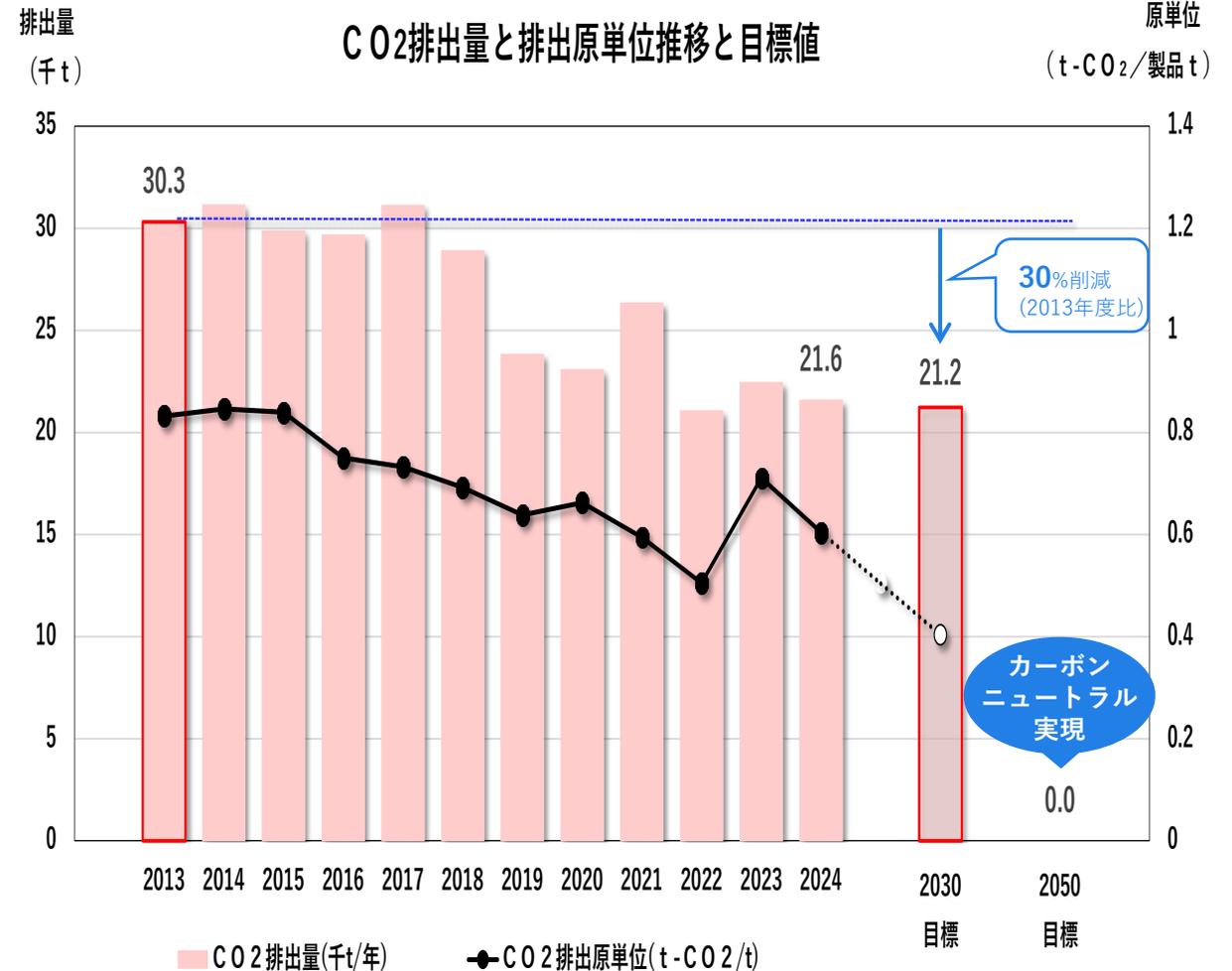
## ESG経営：E（環境）

### ✓ CO2排出量削減

- ・2030年度に2013年度比30%削減、2050年度カーボンニュートラル実現
- ・エネルギーの使用効率向上
- ・電気炉への更新による都市ガス使用量の削減
- ・海外3工場におけるCO2削減に向けたロードマップ策定

### ✓ サプライチェーン排出量（Scope1+2+3）削減と情報開示

- ・CDP気候変動質問書評価 B（前年度と変わらず）
- ・〃 水セキュリティ質問書評価 B（前年度 B-）。



※2024年度よりCO<sub>2</sub>排出量の算定方法を変更しております。それに伴い、公表済みの2023年度以前の実績及び2030年度の目標値を変更後の算定方式による排出量に修正いたしております。また、2024年度の排出量は第三者検証前の数値となります。

## ESG経営：S（社会）

### 健康経営の推進

- 健康経営銘柄2025に初めて選定
- 健康経営優良法人に6年連続認定、さらにホワイト500に初めて認定



健康経営アワード2025（左：前園真聖氏）

## 地域社会とのコミュニケーション促進

- 企業版ふるさと納税（大阪府枚方市）  
生物多様性に係る事業及び子どもたちの  
環境学習に係る事業に100万円を寄附



感謝状贈呈式（左：伏見市長）

- FCティアモ枚方（JFL）オフィシャルスポンサー  
地域サッカーチームの活動を支援



## ESG経営：G（ガバナンス）

- 第三者機関による取締役会実効性評価実施
  - ・社内評価から第三者機関による評価に移行

- 政策保有株式の縮減

- ・2024年3月末時点の保有8銘柄を4銘柄に縮減  
（連結資産に占める割合は4銘柄で0.1%）

- 特別委員会の審議強化

- ・親会社（大同特殊鋼株式会社）との取引についての審議回数を増やし、  
少数株主との利益相反がないかチェックを強化



## トップメッセージ

「Micro&Fine Technology」で  
サステナブル社会に貢献する企業を目指します

当社は1951年に創業して以来、ステンレス鋼板のトップメーカーとして実績を築いてまいりました。当社の設立により、ステンレス鋼板の本格的な生産ははじまりました。その後も各種ステンレス鋼板の11種規格の制定、肉厚生産用ステンレス鋼の業界標準への認定など、当社はステンレス鋼の歴史とともに発展してきており、その歩みはステンレス鋼業界の歴史を歩んでまいりました。創業の頃から目指している経営理念もまた、システマティックな生産性を行うなど、環境負荷の削減に取り組んでいます。また、品質管理についてモリスロンの監査は50年を超え、環境と品質に妥協の余地を認めないという考えが、当社が歩み出したステンレス鋼板製造の技術をもつて時代の要請に応えようとする覚悟と創業者のバイエニア精神、今もなお、日本精線へと受け継がれています。

代表取締役社長  
和光 一浩



## トップとしての使命

今、新しく世の中が変化するVUCAの時代、と書かれています。世の中の変革についていくのではなく、世の中の変化に先回りして対応していかねばならない競争社会はますます激しく、社会的責任もますます重くなることを私たちは感じています。人々の生活を支える企業であり、我々が自ら認めることは社会に貢献することです。そのため、責任を重く受け

担っています。小さなことからチャレンジしていき、成長段階に進んでいく。更に大きな改革も受け付けていく。そういったサイクルを繰り返すことが必要となる会社になっていきたいと考えており、お客様の社外取締役から意見を伺ってチャレンジしようとする意気込みは強まっています。当社は1951年創業の歴史を誇る会社であり、日本のトップステンレス鋼板の製造を担っている「日本精線」です。

日本精線の概要やこれまでの歩み、サステナビリティ経営の取り組みなど記載しておりますので、ご高覧ください。  
2025年度版は本年9月に発刊予定です。

## ■ 統合報告書2024

URL : <https://www.n-seisen.co.jp/ir/library/integrated-report/>

QRコード →



■ 本年9月10日に工場見学会を開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

Micro&Fine Technology  
 NIPPON SEISEN 日本精線株式会社

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。



# 2025年3月期（通期） 決算説明会

証券コード：5659